

平成22年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年8月27日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 キタック
 コード番号 4707 URL <http://www.kitac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 輝也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 高橋 幸雄

TEL 025-281-1111

四半期報告書提出予定日 平成22年9月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年10月期第3四半期の業績(平成21年10月21日～平成22年7月20日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|-------|------|-------|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年10月期第3四半期 | 1,505 | 20.5 | 116 | 495.6 | 74 | — | 46 | — |
| 21年10月期第3四半期 | 1,249 | △20.6 | 19 | △56.8 | △19 | — | △15 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年10月期第3四半期 | 8.32 | — |
| 21年10月期第3四半期 | △2.69 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年10月期第3四半期 | 5,128 | 1,868 | 36.4 | 333.56 |
| 21年10月期 | 5,409 | 1,849 | 34.2 | 330.23 |

(参考) 自己資本 22年10月期第3四半期 1,868百万円 21年10月期 1,849百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年10月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 22年10月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年10月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成22年10月期の業績予想(平成21年10月21日～平成22年10月20日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 2,010 | 10.2 | 143 | 61.2 | 80 | 204.6 | 42 | 266.5 | 7.50 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 22年10月期3Q 5,969,024株 21年10月期 5,969,024株

② 期末自己株式数 22年10月期3Q 368,244株 21年10月期 368,244株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 22年10月期3Q 5,600,780株 21年10月期3Q 5,600,810株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「1.当四半期の業績等に関する定性的情報（3）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 3 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 【第3四半期累計期間】 | 6 |
| 【第3四半期会計期間】 | 7 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |
| 4. 補足情報 | 10 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況 | 10 |

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

①業績の概況

当第3四半期累計期間(平成21年10月21日～平成22年7月20日)におけるわが国経済は、中国などアジア新興国向け輸出が好調であったことや政府による景気刺激策の効果などにより、一部の業種では業績回復の兆しが見られたものの、国内民間需要の自律的回復は非常に弱く、緩やかなデフレ進行のもと、雇用・所得環境の継続的な悪化により個人消費は低迷し、さらには米国経済の回復遅れ・EU加盟国における財政問題・円高による景気下振れ懸念などの不安定要素もあり、依然として大変厳しい状況で推移しました。

その中で当社の属する建設コンサルタント業界の市場環境におきましては、国・地方自治体の慢性的な財政難による長期的な公共投資抑制傾向が継続しており、さらには、政府の政策転換による公共投資の予算や事業の大幅な見直しなどにより、受注環境は一段と厳しい状況が続いております。

こうした状況の中、当第3四半期累計期間の業績につきましては、総合評価方式の発注業務への特定率向上に向けた営業体制を一層強化するとともに、技術提案力・コスト競争力・顧客との信頼確保に注力し、収益性向上に向けた原価管理の徹底ならびに諸経費削減などの諸策を継続的に進めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、公共投資予算削減の影響や受注競争の激化等もあって、受注高は10億2千9百万円(対前年同四半期比10.5%減)となりましたが、収益面につきましては、前事業年度からの繰越業務および第2四半期までの受注高が前期に比べて堅調だったことなどから、売上高15億5百万円(同20.5%増)、営業利益1億1千6百万円(同495.6%増)、経常利益7千4百万円、四半期純利益4千6百万円となりました。

②売上高の季節的変動について

当社の主要事業である建設コンサルタント事業は、主要顧客先が国・地方自治体であることから、公共事業の工期が事業年度末である3月および9月に集中する傾向にあるため、当社の売上高の計上時期が第2四半期会計期間と第4四半期会計期間に偏る傾向が高い反面、販売費及び一般管理費は各四半期毎に概ね均等に発生するという季節的変動要因があります。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末の財政状態は、前事業年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

資産合計は、51億2千8百万円(前事業年度末比2億8千万円減)となりました。

主な増減内訳は、受取手形及び完成業務未収入金(同3億3千6百万円減)、未成業務支出金(同6千2百万円増)等であります。

(負債)

負債合計は、32億6千万円(前事業年度末比2億9千8百万円減)となりました。

主な増減内訳は、短期借入金(同1億6千9百万円減)、未成業務受入金(同6千万円増)、長期借入金(同1億8千5百万円減)等であります。

(純資産)

純資産合計は、18億6千8百万円(前事業年度末比1千8百万円増)となりました。

主な増減内訳は、利益剰余金(同1千8百万円増)等であります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1千6百万円増加し、8千万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果流入した資金は、4億5千8百万円(前年同四半期は流入した資金2億9千9百万円)となりました。これは、主に税引前四半期純利益6千4百万円、減価償却費6千4百万円、売上債権の減少額3億3千6百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果流出した資金は、4千3百万円(前年同四半期は流出した資金5百万円)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出1千8百万円、定期預金の預入れによる支出2千6百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果流出した資金は、3億9千8百万円(前年同四半期は流出した資金3億6千6百万円)となりました。これは、主に短期借入金の純減少額1億6千万円、長期借入金の返済による支出1億9千5百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

本資料に記載されている業績予想につきましては、平成21年12月4日付発表「平成21年10月期決算短信(非連結)」の記載から変更はありません。なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

1. 簡便な会計処理

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前事業年度末以降の経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度末において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年7月20日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月20日) |
|----------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 106,622 | 63,767 |
| 受取手形及び完成業務未収入金 | 42,284 | 378,692 |
| 未成業務支出金 | 244,976 | 182,512 |
| 貯蔵品 | 5,677 | 4,691 |
| 繰延税金資産 | 20,691 | 28,278 |
| その他 | 16,977 | 16,102 |
| 貸倒引当金 | △125 | △924 |
| 流動資産合計 | 437,105 | 673,120 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 282,335 | 297,243 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 401,620 | 403,127 |
| 賃貸資産(純額) | 1,297,537 | 1,324,322 |
| 土地 | 2,424,813 | 2,425,034 |
| その他(純額) | 31,181 | 18,204 |
| 有形固定資産合計 | ※1 4,437,488 | ※1 4,467,931 |
| 無形固定資産 | 9,803 | 11,491 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 77,928 | 85,688 |
| 繰延税金資産 | 145,827 | 144,136 |
| その他 | 20,842 | 26,928 |
| 貸倒引当金 | △22 | △27 |
| 投資その他の資産合計 | 244,575 | 256,725 |
| 固定資産合計 | 4,691,867 | 4,736,149 |
| 資産合計 | 5,128,973 | 5,409,269 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 業務未払金 | 37,399 | 72,223 |
| 短期借入金 | 701,696 | 871,656 |
| 1年内償還予定の社債 | 28,000 | 28,000 |
| 未払法人税等 | 13,342 | 4,911 |
| 未成業務受入金 | 136,341 | 75,731 |
| 賞与引当金 | 19,292 | 24,888 |
| 業務損失引当金 | 16,811 | 11,070 |
| その他 | 135,984 | 125,760 |
| 流動負債合計 | 1,088,868 | 1,214,240 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 724,000 | 738,000 |
| 長期借入金 | 1,151,023 | 1,336,615 |
| 退職給付引当金 | 81,169 | 73,847 |
| 役員退職慰労引当金 | 180,700 | 174,613 |
| その他 | 34,980 | 22,419 |
| 固定負債合計 | 2,171,873 | 2,345,495 |
| 負債合計 | 3,260,741 | 3,559,735 |

(単位:千円)

| | 当第3四半期会計期間末 (平成22年7月20日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年10月20日) |
|--------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 479,885 | 479,885 |
| 資本剰余金 | 306,201 | 306,201 |
| 利益剰余金 | 1,204,959 | 1,186,342 |
| 自己株式 | △110,450 | △110,450 |
| 株主資本合計 | 1,880,595 | 1,861,978 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △12,363 | △12,443 |
| 評価・換算差額等合計 | △12,363 | △12,443 |
| 純資産合計 | 1,868,231 | 1,849,534 |
| 負債純資産合計 | 5,128,973 | 5,409,269 |

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成20年10月21日 至平成21年7月20日) | 当第3四半期累計期間 (自平成21年10月21日 至平成22年7月20日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 1,249,747 | 1,505,323 |
| 売上原価 | 867,606 | 1,026,491 |
| 売上総利益 | 382,140 | 478,831 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 362,571 | ※1 362,279 |
| 営業利益 | 19,569 | 116,551 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 74 | 23 |
| 受取配当金 | 1,604 | 1,634 |
| 保険解約返戻金 | 11,875 | — |
| 業務受託手数料 | 4,063 | 9,095 |
| その他 | 2,087 | 2,597 |
| 営業外収益合計 | 19,705 | 13,349 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 40,142 | 35,485 |
| 社債利息 | 9,868 | 9,399 |
| その他 | 9,086 | 10,309 |
| 営業外費用合計 | 59,097 | 55,194 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △19,822 | 74,706 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 308 |
| 貸倒引当金戻入額 | 539 | 803 |
| 特別利益合計 | 539 | 1,112 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 134 | 2,541 |
| 投資有価証券評価損 | — | 8,893 |
| 特別損失合計 | 134 | 11,435 |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | △19,417 | 64,383 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,300 | 11,920 |
| 法人税等調整額 | △5,623 | 5,842 |
| 法人税等合計 | △4,322 | 17,762 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △15,094 | 46,621 |

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

| | 前第3四半期会計期間 (自平成21年4月21日 至平成21年7月20日) | 当第3四半期会計期間 (自平成22年4月21日 至平成22年7月20日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 177,360 | 342,439 |
| 売上原価 | 139,305 | 273,977 |
| 売上総利益 | 38,054 | 68,461 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1 108,897 | ※1 119,821 |
| 営業損失(△) | △70,842 | △51,359 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 11 | 5 |
| 受取配当金 | 1,019 | 887 |
| 保険解約返戻金 | 11,875 | — |
| 業務受託手数料 | 1,108 | 4,128 |
| その他 | 800 | 1,426 |
| 営業外収益合計 | 14,815 | 6,446 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 11,027 | 9,662 |
| 社債利息 | 3,319 | 3,098 |
| その他 | 2,826 | 3,624 |
| 営業外費用合計 | 17,172 | 16,385 |
| 経常損失(△) | △73,200 | △61,299 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 759 | 579 |
| 特別利益合計 | 759 | 579 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 37 | — |
| 投資有価証券評価損 | — | 8,893 |
| 特別損失合計 | 37 | 8,893 |
| 税引前四半期純損失(△) | △72,479 | △69,613 |
| 法人税、住民税及び事業税 | △2,361 | △50,755 |
| 法人税等調整額 | △25,457 | 10,799 |
| 法人税等合計 | △27,818 | △39,956 |
| 四半期純損失(△) | △44,660 | △29,657 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成20年10月21日 至平成21年7月20日) | 当第3四半期累計期間 (自平成21年10月21日 至平成22年7月20日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△) | △19,417 | 64,383 |
| 減価償却費 | 65,247 | 64,105 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 3,638 | 7,322 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △1,321 | 6,086 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | △539 | △803 |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,678 | △1,657 |
| 支払利息 | 40,142 | 35,485 |
| 社債利息 | 9,868 | 9,399 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | — | △308 |
| 固定資産除却損 | 134 | 2,541 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △24,614 | △5,596 |
| 未成業務受入金の増減額 (△は減少) | 119,723 | 60,610 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △33,662 | 1,523 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | — | 8,893 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 203,829 | 336,407 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △44,891 | △63,450 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △27,848 | △34,823 |
| 業務損失引当金の増減額 (△は減少) | 3,006 | 5,741 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 21,280 | △930 |
| その他 | 27,135 | 3,777 |
| 小計 | 340,033 | 498,709 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,681 | 1,656 |
| 利息の支払額 | △48,511 | △41,492 |
| 法人税等の支払額 | △1,241 | △1,021 |
| 法人税等の還付額 | 7,826 | 285 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 299,788 | 458,138 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 投資有価証券の取得による支出 | — | △1,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,536 | △18,270 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 3,904 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △800 | △1,232 |
| 定期預金の預入による支出 | — | △26,600 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △5,336 | △43,197 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △90,000 | △160,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △220,122 | △195,552 |
| 社債の償還による支出 | △14,000 | △14,000 |
| 配当金の支払額 | △42,006 | △28,003 |
| 自己株式の取得による支出 | △13 | — |
| その他 | — | △1,129 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △366,141 | △398,685 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △71,689 | 16,254 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 142,001 | 63,767 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | ※1 70,311 | ※1 80,022 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

| 事業部門別の名称 | 生産高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|-----------|------------|
| 建設コンサルタント事業 | 1,393,869 | 122.85 |
| その他事業 | — | — |
| 合計 | 1,393,869 | 122.85 |

- (注) 1 生産実績の金額は、販売価格で表示しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

| 事業部門別の名称 | 受注高(千円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|-----------|------------|----------|------------|
| 建設コンサルタント事業 | 1,029,763 | 89.47 | 568,060 | 79.26 |
| その他事業 | — | — | — | — |
| 合計 | 1,029,763 | 89.47 | 568,060 | 79.26 |

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

| 事業部門別の名称 | 販売高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|-------------|-----------|------------|
| 建設コンサルタント事業 | 1,393,869 | 122.85 |
| その他事業 | 111,453 | 96.81 |
| 合計 | 1,505,323 | 120.45 |

- (注) 1 主要相手先別の販売実績は、次のとおりであります。

| 相手先 | 前第3四半期会計期間 | | 当第3四半期会計期間 | |
|-------|------------|-------|------------|-------|
| | 販売高(千円) | 割合(%) | 販売高(千円) | 割合(%) |
| 新潟県 | 484,172 | 38.74 | 502,046 | 33.35 |
| 国土交通省 | 353,628 | 28.30 | 572,331 | 38.02 |

- 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3 建設コンサルタント事業につきましては、官公庁取引が大半を占める事業の性質上、販売高が第2四半期会計期間及び第4四半期会計期間に集中する傾向があります。